

当院の医療安全を振り返ってみて

下呂市立金山病院 放射線科

○細江 辰徳 瀧瀬 和人 市原 とも子

【はじめに】

医療安全に向けての取り組みをする中で、様々な対策やマニュアルが作成される。当院のマニュアルは形式だけになってしまいあまりフィードバックされていないのが現状である。そこで、これまで放射線科内で作成したマニュアルが実際に役立っているかアンケートをとって調べてみることにした。

【方法】

当院の放射線科スタッフ5名にアンケートをとって、医療安全マニュアルに入っている5つの項目（機器の始業・終業点検チェック表、機器のマニュアル、再撮防止レポート、業務のワークフロー、造影剤使用時の副作用への対策）が医療安全対策に役立っていると感じているかどうかを調べた。

【結果】

5名からアンケートの回答があった。

普段の医療安全対策に役立っていると感じている割合

1 機器の始業・終業点検チェック表	100%
2 機器のマニュアル	80%
3 再撮防止レポート	60%
4 業務のワークフロー	20%
5 造影剤使用時の副作用への対策	20%

【考察】

医療安全マニュアル内の項目によってかなり差があることが分かった。機器のチェック表やマニュアルは日常の業務で使用されている傾向があるので重要視されていると考えられ有用である。業務のワークフローや造影剤副作用の対策は、普段あまり触れることがないため役に立っていないと感じている傾向がある。

【結語】

医療安全マニュアルが一部ではあまり生かされていない現状が分かった。すべての項目を生かすために定期的に周知、講習等をしてスタッフのモチベーションをあげると同時にマニュアル自体のアップデートをして常に役立つ物を作る必要性があると感じた。